

サル被害への対策を強化しています

飯舘村鳥獣被害対策実施隊サル駆除プロジェクト

令和3年度から、実施隊の中にサル駆除プロジェクトを立ち上げ、7人の隊員がサルの駆除を重点的に行っています。

サルの被害の現場を目撃した場合は、無理に近づかず、産業振興課農政第二係 ☎ 0244(42)1625(こ)に連絡ください。

サル駆除プロジェクト
プロジェクトリーダー
菅野満郎さん(深谷)



村で予算を取ってもらいサルのワナを仕掛けています。サルは、高い柵も乗り越えてしまいます。刈り入れ間近の田んぼを荒らされた農家もありましたし、何とかしなければと思っていました。「サルがいる」と役場に連

絡があると、まずは実施隊の隊長に連絡があり、隊員にも一報が入ります。サルの対応は追い払いが基本です。現場では花火を鳴らして追い払いをすることもあります。大きな音に驚いて、サルはどっと逃げて行きます。サルを減らすには、「ここは危険だ」とサルに教えることが大事です。サル駆除プロジェクトは7人体制で取り組んでいます。ワナを仕掛け、3日に1回ワナ内のエサの確認に行きます。サルは、エサがあつても警戒

して寄つて来ませんが、出入りができると分かると安心して、徐々に複数でワナに入るようになっていきます。そのタイミングでワナから出られないようにして効果的に捕獲を進めています。現在は、人馴れや農地への進出が進んでいる草野群への対応を重点的に行っています。草野地区カヨウでは19頭を捕獲しました。次年度はワナを追加できるように計画がされており、さらに取り組みを進めていければと考えています。



サル駆除プロジェクトが設置しているサルのワナ。人の背丈より高さがあり、中にはサルの好むエサを入れています。

東北野生動物保護管理センター
研究員 高岡裕大さん



ニホンザルへの対応は、しっかりと追い払いをして、守りたいものを守ることが大切です。サルはエサを食べに来ているので、

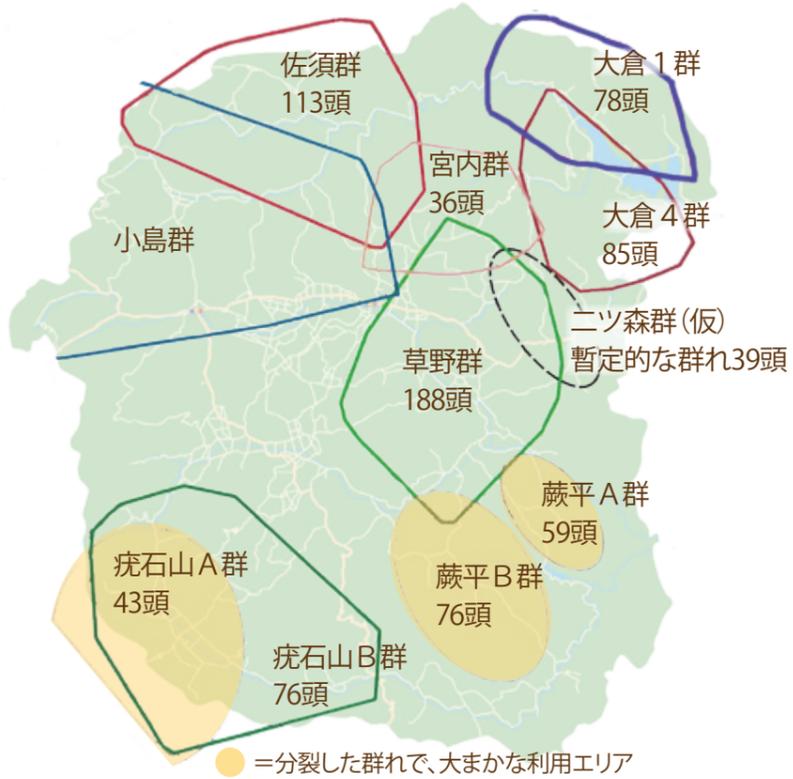
利用していない柿の木を切るなどして寄つて来るものを無くしておくことも大事ですね。また、サルの群れによって、人馴れや、作物を荒らす程度の違いがあるので、群れの特性をつかみ優先順位をつけて対策することが効果を高めま

す。我々は県の事業の二環で、平成29年度からサルに発信機を付け、群れの動向調査も行っています。これからも村と情報を共有しながら、被害対策に貢献していきたいと考えています。

ニホンザルの群れの調査が行われています

■飯舘村ニホンザル生息分布図

(令和3年調査現在)



出典：福島県(福島県営農再開支援事業)

サルの被害を減らしていこう

ニホンザルについて

- 食性**
雑食性で植物性のものが中心
- 群れ**
群れには複数のメスやオス、子ども達がいる、オスは別な群れに入ったり離れザルになる
- 行動**
日の出から日没までの明るい時間に行動
ほぼ決まったエリア内を周期的に移動
季節によって利用する地域が変化
木登りが得意で手先が器用、ジャンプ力がある
学習能力が高く、食べ物の場所や味を記憶する
集落の美味しいものを学習すると執着する

習性を知って対策しよう

- 食べ物を減らしましょう**
野菜の残り物、残りカスを放置しない
お墓にお供え物を残さない
利用しない果樹は伐採を検討
- 柵で守ろう**
サルに効果のある柵を選ぶ
サルが飛び移れないように設置
柵が機能しているか定期的に管理
- 徹底的に追い払いましょ**
花火等を使って、人が追い払いをすることが大事
追い払いは複数人でやると効果的
サルを発見しやすい環境の整備

追い払いで、人や里は怖い場所と覚えさせましょう！